

永かった3年に別れを告げて

口元に口上、ポケットにマスクを！

ようやく、コロナも収束に向かい三月十三日より、マスクの着用も個人の判断に委ねられるようになりました。

動き出した人流をしり目に、若いとは言い難い我々も、確実に二つの歳を重ね、元の生活へと踏み出すこととなります。臆病になりすぎず、且つ油断することなく、種々の活動に邁進したいものです。

口上の参加協力の要請も届くようになりました。

以下に主な開催日程をまとめましたので、ご都合のつくイベントがありましたら参加・応援等、ご協力をお願いいたします。



第45号
発行
筑波山がまの油売り口上研究会

口上実演予定の主なイベント

古河桃まつり				
3月18日(土)	3月19日(日)	3月21日(火)		
3月25日(土)	3月26日(日)	4月1日(土)	4月2日(日)	
常陸風土記の丘	桜まつり			
4月1日(土)	4月2日(日)	4月8日(土)	4月9日(日)	
4月15日(土)	4月16日(日)	4月22日(土)	4月23日(日)	
国営ひたち海浜公園				
4月22日(土)	4月26日(水)	10月15日(日)	10月18日(水)	
阿弥陀寺	桜まつり			
3月24日(木)	3月25日(土)	3月26日(日)		
茨城県植物園秋祭り				
11月13日(月)	県民の日			

がま研のホームページ
本部・支部の活動も随時更新中。

*会の名称を入力しても、なかなかヒットしません。直接入力して、お気に入り登録をお願いいたします。

<http://gamaken.wp.xdomain.jp/>

令和5年度 定期総会の開催について

日時:5月20日(土)午前 9時30分～ 総会
午前 11時～ 講演会(左記)

会場:土浦市小野491
土浦市立「小町の館」 ☎029-862-1002

※当日、年会費の納入をお願いいたします。

本年度は諸活動も再開の見通しとなりますので、会則どおり **年会費 2,000円** といたします。

欠席の方は下記の口座までお振り込みください。

ゆうちょ銀行 口座番号: 10690-38833081
口座名: 筑波山がまの油売り口上研究会

⑨総会案内のハガキはお送りしませんので、ご了承ください。

講演会 浪曲二題

浪曲師 中村 和正 (水戸教室)

独特の節と語りで物語を進める話芸。昭和初期に最盛期を迎えるもその後衰退。今また復興再評価の動きもある。新人コンクール入賞経験もある中村氏の話芸をたっぷりとお聴きあれ。



口上と声についての雑感

小町塾・つくばね会
宮崎 武

十二月六日の日刊スポーツ【ニッカンシニア】という月一回二ページものの中に、自分の記事が出ました。その経緯は『健康声磨き普及協会』のインストラクターをやりながら、自分が属している『県南シニアミュージカル』の創設リーダー（音大出身）でもある方から『健康声磨きの文字を入れた健康法』についての依頼からです。「原稿用紙何枚まで？」と聞いたら六十字以内と言われ、考え込んでしまいました。結局削りに削って出来たのが、記事となっています。

そして後日談。掲載翌日の朝、覚えのない他県の人から電話があり、それが昔の職場の同僚。「あの記事はお前か？まだ元気だったか？」当然こっちもびつくり。何しろ十年以上会っていないのですから。

また同日の地域の老人会連合会合で、近隣老人会の会長から「ガマの油売り口上をやっているそうだが、会長の地域の集まりで演じてほしい」との打診。嬉しいと同時に驚いたのは、

- ① 新聞の威力のすごさ。
- ② 情報伝播の速さ。

新聞などでは兎角見落としも多い中、見ている人が多いのにも驚いています。打診のあった公演は「具体化すればいいな」と思い、より練習に励まなければならぬと、気合を入れています。

がま研に入れて頂いて三年半、未だ覚えきれない現在。真剣味が足りないのか頭が悪いのか、歳の所為なのか。否、全部当てはまっている様です。



そんな中、十二月五日に、ちよこつと掲載された記事は声磨き普及協会つまりボイストレーニング関係からのものでした。これがきっかけで「声」に興味湧き、インターネットで検索すると、いやあ、声に関する情報の多いことに驚きました。それらの中で、口上に関連ありそうなものを探しましたが、なかなかドンピシャリは無く、でも色々読むうちに、発声法の基本は同じであろうと思いに至りました。皆さんも一度チェックされてはいかがでしょう？

さて、四月一日に古河桃まつりで演じることになりましたが、声と口上について考えるなら、生まれてから慣れ親しんだ（かどうかは？）自分の声が、聴く人達にどう響いていくのか疑問になりました。今どんな声を発し、どう表現しているのか、それが聴く人にどのように届き、どのように心を揺すっていくのかを。

日常何気なく交わしている会話より、より強い

歴史探訪会

整備のすすむ歴史館・借楽園を散策しませんか

(特別展示は名品でたどる家康の生涯)

期 日：令和5年6月17日(土)

場 所：県立歴史館と借楽園を訪ねて

集合時刻：午前10時

集合場所：歴史館駐車場

水戸市緑町2-1-15 ☎029-225-4425

入館料：160~610円(展示内容による)

満70歳以上は半額

昼 食：散策後、各自自由におとりください。

申 込：希望者は所属教室の会長まで
(所属の無い方は林会長に電話)

申込期限：5月31日(水)

意識のこもった口上でなければ、又テキストの文字を羅列するだけでは、なんら聴く人の心を揺らすことはできません。声の強弱・遅速・抑揚・間。そして口上に合致した振りなど…。これらが組み合わさって、初めて「安心して聴ける声、親しみやすい声、魅力ある声」として心に響く声となり満足してもらえるものとなるのではないのでしょうか。

よく言われる「お客様に満足を与えられるのがプロ、自分で満足するのが素人」と。がまの油売り口上は、素人とはいえ、人を集めてまで行う演技であるならば、自己満足だけのものではあつては通用しないことを肝に銘ずべきでありましょう。

さて、四月一日には、万難を排して最大限努力し、聴く方々に満足してもらえ、かつ自分も納得いく演技を目指します。

がまの油売り口上研究会入会にあたって

水戸教室 山崎 正夫

昨年第四十三回がまの油売り口上講座を終了し水戸教室にお世話になることになりました。四回の講習会では素敵な出会いがあり、水戸教室でもたくさん先輩の素晴らしい口上芸が見られて期待一杯です。

私がボランティア活動を始めたきっかけは、勤務先を定年退職し趣味の山歩きや観光旅行を町内会の仲間と楽しんでるうちに母が介護施設に入所することになったことです。周辺環境の似ている仲間が多く、色々話し合ったうえで、趣味とボランティア活動を一緒にしてしまえと、バス観光部・ハイキング活動部・グラウンドゴルフ部そして演芸ボランティア活動を発足させました。

十年近く月に一〜二回の福祉施設慰問活動をしていましたが、現在は新型コロナ禍で活動は停滞しています。一日も早く活動が再開できます事を願っています。そして活動が停滞したことをきっかけに、持ち芸を増やそうと思ったのが今回のがまの油売り口上講



座受講です。

いまのところの持ち芸は南京玉すだれ・皿回し・バルーンアート・おもしろ手品ですが、仲間にも男女二人のマジシャンがいます。以前所属していた劇団いばらき水戸黄門一座とも欠員が出た際に協力しています。悪代官・年貢取り立て悪奉行など悪人役が得意です。

新型コロナ禍が落ち着いたら仲間と一緒に福祉施設慰問を再開したいと思えます。

歓迎

今年も有望な新人を会員としてお迎えしました！

芸のポケットをいくつもお持なのか？

間を再開します。がまの油売り口上もできるような頑張りますので諸先輩皆さまのご指導を宜しくお願い致します。

つくばね会に入りました

齋藤 晴夫



白波五人男 (左端の南郷力丸)

一月、これから冬に向かい夜明けは遅く日暮れは早い時期。出勤・帰宅時間はいつも真っ暗、辺りの景色など見る事はできません。ある日八時過ぎの電車に乗るため、藤代駅二階改札口に向うとき北側を見ると朝日を背負った美しい山が見えた。えっ、あれが筑波山か素晴らしい！

筑波山と言えば、がまの油売り。がまの油売りの口上を聞いてみたい。令和四年産経新聞の茨城版に「筑波山がまの油売り口上研究会」の講座の記事。早速申し込み、第一回講座の日が来るのを折り数え待ちました。

佐藤貞弘様が由緒正しき服装で演じ、口上文の内容解説をして頂きとても勉強になりました。講座終了後、受講生と毎回昼食をとりながら、刀・袴・着物はどこで手に入れたら良いか、値段はどの位だろう等とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

全講座終了後、家から近い「つくばね会」に参加希望を出しました。成田会長より、つくばね会総会のお誘いをいただき喜んで出席させて頂きました。会長から「会は楽しくなければダメだ。」との言葉。正に同感、良い会に入会できてよかったです。練習会では同じ口上でも色々な表現がありとても参考になりました。でも台詞覚えることができるかな。「大丈夫、私も三年かかりました。」と慰めて頂きましたが、三年生きてるかな？

今後、皆様宜しくお願いいたします。

落語も少々たしなみます。



ます。茨城って良いところだな。遠くに山でも見えてさらさら素晴らしいのに。移り住んだのが十

昨年十月三十一日から十一月五日、小笠原諸島の父島へ旅をしてきた。小笠原は良く聞く名前だが、東京から約千km。航空便は無く船で片道二十四時間、丸一日かかり、行きづらい場所である。島の観光と共に往復丸二日の船旅に興味を持ち参加したものである。

初日、午前十一時、離島連絡船としては日本最大の『おがさわら丸』一万一千tに乗船。東京湾の航海は快調そのもの。約三時間後、進行左に房総半島、洲崎を過ぎると太平洋に出て周りは全て海ばかり、右手遠く伊豆諸島が見える。船内を歩き回る。船室は等級の差があるが、レストラン、展望ラウンジ等の設備の使用は自由である。夕食後、消灯の十時までは自由に寛ぐ。

二日目、外は雨、風が強く船は結構揺れてデッキへ出るすべての扉は安全のため鍵で閉じられていた。朝食後はラウンジでコーヒーを飲みながら荒れる海をみているばかり。揺れはひどくなり廊下を歩くときは手すりを持たねば倒れそうになる。酔い止め薬を準備していたて助かった。

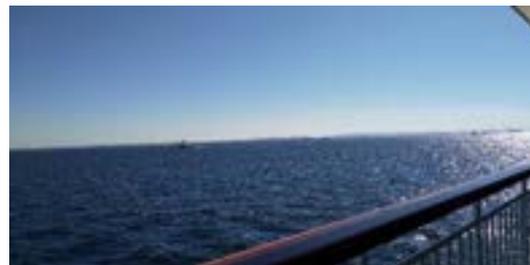
定刻の十一時、昨日から丁度二十四時間で、父島、二見港到着。宿に案内され一息つく。宿のある大村地区が父島の中心街のようで行政機関、商店、観光業者、民宿などが集中していた。三日目、四日目は山歩きをしたり、大村海岸で海水浴。又、自由に島巡り。五日目、今日の午前中でのこのツアー

小笠原訪問ツアーに参加して

丸山 義雄 (つばね会)



は最終となる。午前中は南島の半日ツアーへ行くが、このコースは白い砂浜で有名な南島とその途中の海域でイルカと泳ぐ事が売り物。参加者一〇名の内、六名はウエットスーツを着ていた。青い海の上でスピードを上げたクルージングは快適だ。イルカが居るとガイドが先頭を切って海へ入り、ウ



青い海が目に入り、素晴らしい景色だ。真つ白な砂浜の扇池で暫く休憩をして帰途に就く。出航は午後三時。此処の見送りの言葉は『さようなら』ではなく、「いつてらっしゃい！」またすぐにきてね、という意味らしい。



エットスーツの連中も次々と飛び込む。若い人でないと出来ない芸当だ。そうした海域を過ぎると南島到着。上陸は栈橋など無く、船から直接岸の崖へ飛び降りガイドが手を差し伸べてくれて何とか上陸。丘に上ると一面の

また、本船に並行して観光船の小舟が伴走してツアーのガイドたちが海の中に飛び込むパフォーマンスを見せてくれた。小笠原は気候も暖かく、素晴らしい自然に恵まれており、体力に自信のある人には楽しめる処だ。ただ往復四八時間の船旅が難点になるかな。

また、本船に並行して観光船の小舟が伴走してツアーのガイドたちが海の中に飛び込むパフォーマンスを見せてくれた。



ボランティア保険

会員は全員ボランティア保険に加入しています。活動中や往復に何か不測の事態が生じたときは、事務局にご連絡ください。未然に防ぐよう注意は怠りなく！

編集後記

ウクライナの戦況は悲惨なまま一年が過ぎました。物価高騰も生活を圧迫しています。控えていた面会の再開や会食などを計画されている方もおいででしょう。マスクは顔。パンツともよばれるようであるほど化粧もせずに、ちよつと出かけるには便利でした。今後は、恥じらいと笑顔を忘れずに、出合いの場を増やしていきたいと思えます。

編集子

メール投稿先
tgod6474@i-next.ne.jp